

第13回の基本課題

試験の実施方法

kiso2 コマンドで「試験」表示されたファイルは、試験として実施されます。「試験」として出題されたファイルもkiso2 コマンドを用いて提出しますが、これらのファイルは試験実施中のみ提出することができます。

試験の実施方法は、以下の通りです。

1. 端末(ターミナル)上から、kiso2 コマンドに `-start-exam` オプションを付けて実行 (`kiso2 -start-exam`) することで試験が開始されます。表示フォントの関係で見にくいかもしれませんが、kiso2 の後にスペースを開けて `-start-exam` (先頭のハイフンは2つ「マイナス・マイナス」`start`「マイナス」`exam`) です。
2. 試験が開始されると、試験開始のメッセージと共にウェブブラウザで試験用Webページが自動的に表示されます。
3. 試験の実施中は、端末(ターミナル)上で経過時間と残り時間が不定期に更新され、kiso2 コマンドで「試験」表示されたファイルが提出できます。
4. kiso2 コマンドで「試験」ファイルを提出する場合は、kiso2 `-start-exam` で試験を開始した端末(ターミナル)とは別の端末(ターミナル)をもう一つ起動し、その端末でkiso2 コマンドによるファイルの提出を行ってください。
5. 試験実施中は、不定期にデスクトップ画面のスクリーンショットが取得されます。
6. 試験の残り時間が100秒を切ると1秒毎のカウントダウンが表示され、残り時間が0になると kiso2 `-start-exam` コマンドと共に試験が終了します。
7. kiso2 `-start-exam` コマンドが強制終了されると、そのままでは再度 kiso2 `-start-exam` を実行できなくなります。操作を誤って強制終了してしまった場合は、速やかに試験監督に申し出て下さい。再度 kiso2 `-start-exam` コマンドが実行できるようにします。ただし、再起動された kiso2 `-start-exam` コマンドは、再起動される度に残り試験時間が10分ずつ減るので注意して下さい。

ex13 のすべての課題は「試験」実施の練習用課題として出題されています。「試験の実施方法」をよく読んで、試験に参加できるようにしておいてください。現在は、1回の試験時間を10分とし、何度でも試験に参加できるように設定されていますので、繰り返し試験問題の提出を練習しておいてください。

ex13-1.c

要素の値が 0 から 100 の範囲にある大きさ50の整数型の配列変数 `data[]` が以下のように与えられている。0から100の値が、配列 `data[]` の要素にそれぞれいくつ含まれているかを出力するプログラム **ex13-1.c** を作成してkiso2コマンドを用いて提出しなさい。

```
int data[] = {61, 32, 97, 47, 74, 32, 31, 31, 4, 11, 52, 18, 75, 16, 96, 38,
28, 54, 64, 2, 43, 1, 64, 62, 1,
81, 100, 52, 56, 77, 27, 69, 20, 20, 79, 99, 96, 15, 56, 74,
9, 86, 84, 64, 100, 78, 58, 36, 46, 46};
```

実行例：

```
t180900@s01cd0542-160:~/kiso2-2018/ex13$ ./ex13-1
0: 0
```

1: 2
2: 1
3: 0
4: 1
5: 0
6: 0
7: 0
8: 0
9: 1
10: 0
11: 1
12: 0
13: 0
14: 0
15: 1
16: 1
17: 0
18: 1
19: 0
20: 2
21: 0
22: 0
23: 0
24: 0
25: 0
26: 0
27: 1
28: 1
29: 0
30: 0
31: 2
32: 2
33: 0
34: 0
35: 0
36: 1
37: 0
38: 1
39: 0
40: 0
41: 0
42: 0
43: 1
44: 0
45: 0
46: 2
47: 1
48: 0
49: 0
50: 0
51: 0

```
52: 2
53: 0
54: 1
55: 0
56: 2
57: 0
58: 1
59: 0
60: 0
61: 1
62: 1
63: 0
64: 3
65: 0
66: 0
67: 0
68: 0
69: 1
70: 0
71: 0
72: 0
73: 0
74: 2
75: 1
76: 0
77: 1
78: 1
79: 1
80: 0
81: 1
82: 0
83: 0
84: 1
85: 0
86: 1
87: 0
88: 0
89: 0
90: 0
91: 0
92: 0
93: 0
94: 0
95: 0
96: 2
97: 1
98: 0
99: 1
100: 2
```

要素の値の個数を記録する配列変数（たとえば `cnt[100+1]` を用意し、`data[i]` の要素に値 `i` がつかれ

ば $\text{cnt}[i]$ を増やしていくといった方法が考えられます。

[第13回演習課題へ](#)

From:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/base13>



Last update: **2018/12/20 14:23**